

「びわ&レモン」の複合経営の取組 ver.2.0

～令和元年台風被害を乗り越え、びわ農家が「南房総なむやレモン研究会」を発足～

安房農業事務所改良普及課 令和6年3月4日発

本県のびわ産地は、令和元年房総半島台風により甚大な被害を受け、復旧・復興に取り組んでいます。その活動の一環で、安房農業事務所は、収入を補うための新たな複合品目としてレモンを提案し、びわ農家が栽培を始めました。

レモンは、苗木を植えてから収穫開始まで約3年と早く、傾斜地などでも栽培が可能です。一方、多くのびわ農家は、レモンの栽培経験がないため、JA 安房や農林総合研究センターと連携して、栽培技術の研修会や販売会議を定期的に行っていました。

栽培開始から約4年経ち、びわ農家はレモンの栽培や販売に手応えを感じ、8名が「南房総なむやレモン研究会」を令和6年2月2日に発足しました。組織化されたことで、スピード感を持った活動や関係機関との連携体制のより一層の強化が期待されます。農業事務所は、この新たな経営モデルの確立を目指し、引き続き支援します。



「南房総なむやレモン研究会」が令和6年2月発足
今後も活発に活動していきます！※写真は JA 安房から提供